

令和元年九月十日

大阪府知事 吉村洋文 殿

嘆 願 書

一般社団法人 大阪府トラック協会
会長 辻 卓 史

知事におかれましては、本年4月にご就任以来、「府市一体となって大阪の成長を目指す」という旗印の下、府民の「安全と幸せ」を守るため、日夜、公務に取り組んでおられるお姿に、心から敬意を表しております。心身とも休まることがない日々と拝察いたしますが、くれぐれもご自愛されますよう心より祈念いたしております。

さて、本年6月末に大阪で開催された日本初の「G20サミット」においては、政府・自治体が一体となって取り組まれた結果、大成功裡に終えられ、今や「大阪」という都市名は世界に知られる存在となり、今後の発展に大きく寄与したことは間違いありません。

私どもトラック輸送業界も開催期間中、関係官署のご指導、並びに荷主との協力の下、走行台数を50%削減する当初目標を達成し、大阪府警察本部から感謝状授与の栄に浴しました。今後、2025年大阪・関西万博に向け様々なイベントが予定されておりますが、私どもはこの度の経験を十二分に生かし、今後とも協力させていただく決意です。

なお、私ども大阪府トラック協会は約3500社の会員事業者と、約8万台の車両を擁しておりますが、事業者の99%は中小零細企業です。そして24時間・365日、「トラックはくらしと経済を支えるライフライン」を社会的使命として仕事に取り組んでいます。

また、最近、大規模災害が多発していますが、私どもは災害発生時には府民・市民の命を守るため緊急救援物資輸送を行います。なお、過去の救援活動を検証いたしますと、ラスト・ワンマイルでの混乱が指摘されています。これを防ぐには日頃から地元自治体と、密接な意思疎通を図っておくことが不可欠と考えます。

また、災害が広域に及ぶ場合は、政府の指定公共機関である全日本トラック協会が指令塔となり、全国47都道府県トラック協会が支援する体制を整えております。

現在、トラック輸送業界が抱える最大の問題は、若手ドライバーの不足と高齢化の同時進行です。今や我が国では、地域間・業種間・企業間で人材の奪い合いの様相を呈しております。そういった中、トラック・ドライバーは、全産業平均と比べ「労働時間が2割多く、賃金は2割低い」のが実態で、人材確保が一段と厳しい状況です。このままでは、現在国内輸送の90%以上を占めるトラック輸送の維持は困難になります。この対策には労働条件・労働環境の改善が必須であり、そのためには原資となる「適

正な運賃」の収受が不可欠です。ところが中小零細企業は荷主に対して極めて弱い立場で交渉力が脆弱です。従って弊協会として社会全般と荷主の意識改革、そして理解・協力を得るための組織的な活動・支援が何としても必要です。

もう一つの課題は交通事故の防止です。一昨年、大阪府下における事業用トラックが第一当事者となった死亡事故の発生件数並びに大阪ナンバーの車両が全国各地で起こした死亡事故件数は、残念ながらともに全都道府県の中で最悪でした。この汚名返上のため、目下、大阪府並びに関係官署と密接に連携しつつ、安全対策の再検討を進め、例えば児童・高齢者向けに安全教室を開催するなど、事故防止に努めております。

以上のような諸問題に対処するには、弊協会の組織的な活動を一段と強化する必要があります。そのためには資金が必要ですが、現状は限界に達しています。

つきましては、知事におかれましては事情ご賢察の上、是非とも現行の「大阪府運輸事業振興助成補助金交付要綱」を見直していただき、令和2年度「助成補助金」の増額につき、格別のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。これは大阪府下全事業者の切なる願いであります。

なお、私どもトラック輸送業界は、毎年1回、全国9ブロックの輪番制で全国事業者大会を開催しております。来年は弊協会が担当することになっており、10月8日(木)に大阪国際会議場で開催し、全国各地から約1300名の参加を見込んでおります。

そして夜は、同会場で懇親会を開催いたします。慣例では主催地の知事並びに市長が全体会議もしくは懇親会にご臨席をいただき、一言ご挨拶をいただくこととなっております。つきましては、改めてお願いに参上いたしますが、2025年大阪・関西万博のPR、並びにIR誘致活動の絶好の機会として、是非ともご臨席をご検討いただきたく、何とぞよろしくお願い申し上げます。

結びにあたり、知事の一層のご健勝とご活躍、そして大阪府のますますの発展を心より祈念申し上げます。

以上